

ひよこ組通信

いよいよ師走号
令和4年12月8日
港区立青南幼稚園



久しぶりのひよこ組通信になりました。9月からのひよこ組はちょっぴり参加者が少なく寂しい日が多かったのですが、そんな中でも初めて足を運んでくださる方もいて、保護者の方々のやわらかな笑顔に包まれて子どもたちがゆったりと遊んでいます。2歳児のお子さんが二人だけだった日は、互いが意識し合ったり関わり合ったり、できないことが少しずつできるようになっていったりする姿が見られ、ほんの短い時間の中でも成長していく過程をお母様方とじっくり見守る貴重な時間になりました。ひよこ組はそうしたお子さんとの時間や親同士の会話をゆっくり楽しむ場でありたいと思っています。

みんなの傑作選！

ひよこ組では毎回、親子で製作したものをお土産に持ち帰っています。しばらくご紹介できなかったので、7月からの作品をご紹介します。

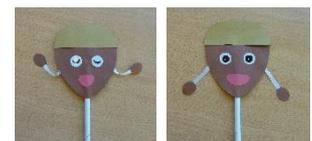


にじみ絵



七夕笹飾り

カタツムリ



くるくるドングリ人形



スタンプ遊び
(ブドウ・キノコ)



球根を植えました

今年もチューリップの球根を植えました。お部屋で球根から芽が出て葉が出て花芽が伸びていく様子を見せながらお話すると、興味津々で見ていた子どもたち。実際に球根をプランターの中に置いてスコップで土を被せる手はぎこちなく、土がうまく救えなかったりこぼしてしまったり・・・最後はお家の方の手を借りながら大事に植えてくれました。球根が何なのか、土に埋めるということがどういうことかがまだよく分からないかもしれませんが、土から芽を出しゆっくり生長してやがて花を咲かせる様子を見て、植物を身近に感じ、小さな自然の息吹を感じてくれたらいいなと思っています。



寒い時期こそ丈夫な体作りを!

師走の声を聞いた途端、冬型の気候になりました。今年は暑い時期が長かったり、冬を迎える季節になってもいつまでも暖かかったり、なかなか気候が安定しませんでした。そうした気温の変化に対応できる体作りを子どものうちからしておきたいですね。

寒くなると戸外遊びが少なくなったり、風邪をひかせないようにとつい厚着をさせてしまったりすることはないでしょうか。自律神経の働きによる体温調節機能は3歳までに備わると言われます。幼少期に自然の暑さや寒さをたくさん経験させることで機能の発達を促します。また汗によって体温調節をする汗腺の発達も、3歳までにいっぱい汗をかくことで促されるそうです。これからの季節は冷たい風に触れたり、お日様の下で体を動かしてじんわり汗をかいたり、陽向の暖かさや日陰の寒さを体感したりすることが大切です。

一方、乳幼児は体が小さい割に体表面積が大きく皮下脂肪が少ないので熱を失いやすいという特徴があります。とは言え動きにくくなるほど厚着をさせるのではなく、体を動かして体温が上がってきたら一枚脱ぐ、冷えてきたら羽織るなど簡単に調整できる衣服が良いでしょう。そしてまだ自分では寒さ暑さを感じにくい時期ですから、お父さんやお母さんが「風が冷たいね」「お日様がポカポカするね」「体があったかくなったからお洋服脱ごうか」など一緒に体感を共有することでさらに感覚も豊かになっていくと思います。

～ 園庭開放のご案内 ～

これから寒さが増していきますが、天気の良い日は自然豊かな青南幼稚園の園庭に遊びに来ませんか。広い園庭で走り回ったり砂場や固定遊具でのびのび遊んだりすることができます。実施日は、基本的にはひよこ組のない水曜日の午後ですが、園の都合により実施できない日もありますので、ホームページやツイッターでご確認ください。

時間帯（冬時間）

14時15分～15時30分

